

環境かわら版

ごみゼロ
いちのみや530作戦実施中

No. 56 (2014年8月1日 発行)

第2次一宮市環境基本 計画を策定しました

市では、環境の保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成16年4月に一宮市環境基本計画を策定し、さまざまな取り組みを実施してきました。

しかし、策定から10年が経過し、環境を取り巻く状況が大きく変化し、また、引き続き対応しなければならぬ問題も数多く残されています。

そこで、社会状況等の変化やこれまでの取り組みを踏まえ、「第6次一宮市総合計画」で掲げる目指すべき将来像の実現を環境面において補完・具体化するとともに、「一宮市環境基本条例」に掲げる基本理念に基づき、「安全で快適な魅力あふれる環境都市」の実現に向け、第2次一宮市環境基本



目指すべき環境像

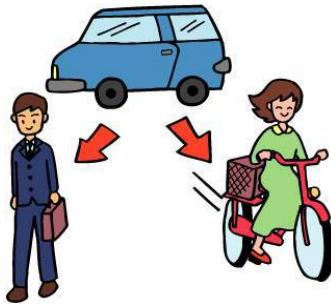
第2次計画では「毎日が暮らしやすく、住みやすい環境である一宮市」を目指すべき環境像とし、その実現のために5つの基本方針を掲げ、環境に負荷の少ない持続可能な社会をつくり、住みやすく、幸せが感じられるまちづくりを目指します。また、その基本方針の達成に向けて、市民、事業者、市民団体・NPO、市の各主体が連携・協力して取り組みます。

計画の推進

この計画を円滑、適切に推進するためには、市民一人ひとりが自らの役割を認識し、主体的に行動することが大切です。

「環境」とは、地球温暖化問題など大規模な環境問題から、身近な自然環境や生活環境まで幅広く含まれます。なるべく自転車や公共交通機関を利用したり、省エネや節電に取り組むなど、できる範囲内で積極的な行動をお願いします。

なお、計画の詳細については、市ホームページで閲覧できます。



< 回 覧 >

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

* 裏面もお読みください。

家庭でできる節電対策

今年の夏は、中部電力管内においては、企業やご家庭で引き続き節電にご協力いただけることを見込んだ上で、安定した電力供給が保たれる見通しです。

私たち一人ひとりが節電に取り組むことは、電力供給を安定させるだけでなく、CO₂の削減、地球温暖化防止に貢献することにもなります。電力使用がピークとなる13時～16時を中心に、できる限りの節電をお願いいたします。

過度の節電は熱中症などの健康被害が発生することもあります。ご自身やご家族の体調には十分に気をつけて、無理のない範囲で実践してください。



家庭での取り組み例

● エアコン

- ・室温28℃を心がける。
- ・すだれやよしず、緑のカーテンなどで窓からの日差しを和らげる。
- ・無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する。

● 冷蔵庫

- ・冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにする。

※食品の傷みにご注意ください。

● 照明

- ・日中は不要な照明を消す。

● テレビ

- ・省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。

● 温水洗浄便座

- ・温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する。
- ・前記の機能がない場合、使わないときはコンセントからプラグを抜く。

● ジャー炊飯器

- ・早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する。

● 待機電力

- ・リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。

● その他

- ・打ち水を行う。(水道水ではなく、風呂の残り湯やエアコンの排水を利用する。)
- ・家族が、できるだけひとつの部屋に集まる。(クールシェア)



そのほかにもさまざまな節電方法があります。自分や家族に合った節電方法を見つけ、実践してみましよう。

レジ袋有料化に伴う収益金を環境保全基金へ

一宮市は、環境保全・地球温暖化防止に関する取り組みの財源として「一宮市環境保全基金」を設置しております。基金は、小売事業者からのレジ袋有料化に伴う収益金等の寄付を積み立てさせていただいております。

寄付金は、緑のカーテン事業や各種環境学習の費用などとして活用しています。

ご寄付いただき

ありがとうございました

(平成25年11月

～平成26年6月)

- ・株式会社ヤマナカ
 - ・ユニー株式会社
 - ・株式会社ココカラ
 - ・ファインヘルスケア
- (敬称省略)

問い合わせ：環境部環境保全課